



2024-25年度 RI会長  
ステファニー A. アーチック



No.3568 10月8日(火)

● 本日の卓話

## 「関西起業家コンテスト『頂上決戦』 in和歌山城」の取り組み

BABYJOB株式会社  
代表取締役社長 上野 公嗣 さん

● 次週の卓話

## 「新宮市の観光について」

新宮市 市長  
田岡 実千年 さん

● 先週の例会記録

- ✳️ロータリーソング 奉仕の理想
- ✳️ビジター紹介 なし
- ✳️出席報告 (会員数80名、免除会員1名)  
本日出席(10/1) 59名 73.75%
- ✳️メイキャップ なし
- ✳️S. A. A. (ニコニコ箱) 塚本貞治さん、松井良樹さん、  
野井和重さん、湯川 進さん、  
中谷友紀さん、木村吉幸さん、  
野志幸生さん、中野智一さん、  
佐々木孝一さん、紀 俊崇さん、  
川端真喜さん、木綿紀文さん

本日合計 ￥49,000  
今年度累計額 ￥619,000

- (財団寄付献金箱) 塚本貞治さん、松井良樹さん、野井和重さん、湯川 進さん、中谷友紀さん、木村吉幸さん、野志幸生さん
- (米山奨学会献金箱) 塚本貞治さん、松井良樹さん、野井和重さん、湯川 進さん、中谷友紀さん、木村吉幸さん
- (青少年育成奨励金) 塚本貞治さん、松井良樹さん、野井和重さん、湯川 進さん、中谷友紀さん、野志幸生さん、河村秀樹さん

## 10月は 経済と地域社会の発展月間 米山月間



誕生日お祝い

● 会長あいさつ

### 会長 野井 和重

#### 【ポリオ】



ポリオの事はロータリークラブに入会して以来、数回にわたり伺っていますが、もう一度簡単に整理してみます。

ポリオの日本式病名は急性灰白髄炎(きゅうせいはいはくずいえん)で、よく耳にしたものは小児麻痺とも言われます。ポリオはpoliomyelitis(ポリオマイアリティス)の略称で、ポリオウイルスによるウイルス性感染症であり、そのウイルスが原因で、脊髄の灰白質が炎症を起こす病気で、感染しても多くの場合は病気としての明らかな症状はあらわれずに、知らない間に免疫ができています。しかし、腸管に入ったウイルスが脊髄の一部に入り込み、主に手や足に麻痺があらわれ、その麻痺が一生残っ

てしまうことがあります。

日本では、1960(昭和35)年に、ポリオ患者数が5千人を超え大流行となりましたが、生ポリオワクチンの導入により流行はおさまり1980(昭和55)年の1例を最後に、現在まで、野生の(ワクチンによらない)ポリオウイルスによる新たな患者は出ていません。

世界に目を向けると1988年には世界125カ国において年間35万症例が発生していましたが、ロータリークラブを含む国際社会の真摯な取り組みにより、どんどんその数をへらし、2018年には33例となっていますが、今年夏にガザの戦闘地域での感染が確認され、今停戦しながらワクチン接種を行っています。すぐそこに終わりが見えているような感じがしますが、そのようなことは無いようです。

地球からポリオが無くなるまで、みんなで支援していきましょう。よろしくお祈りします。

## 会長報告

- 06.10.12開催の06市堀川スタディクルーズは、まだ参加できます。よろしくお祈りします。
- 06.11.16-17の地区大会に参加しましょう！
- 06.10/1～07.03/31 京橋にて「市堀川夜市」開催です！

## 幹事報告

- 例会変更のお知らせ (和歌山南RC、有田RC、粉河RC、高野山RC)
- サイクルトレイン本日申込期限
- パーソナルボックスに米山記念奨学事業豆辞典を配布
- 回覧物 (米山記念事業報告書、更生保護サポートセンター会報誌、水戸ロータリークラブ週報)

## 委員会報告



### ロータリー財団・国際奉仕委員会 中谷友紀 委員長

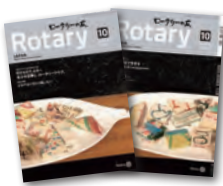
10月24日世界ポリオデーのご案内、  
ポリオプラスソサエティのご案内



### 雑誌・広報委員会

富澤五月 委員

ロータリーの友2024年10月号の主要な記事のご紹介。



## 卓話

### 「その肩の痛み! ほんとに五十肩ですか?」

～肩の診かた治しかた～



### 角谷整形外科病院 スポーツ・関節整形外科部長 中根康博 さん

私は整形外科医で「肩関節」を専門として診療をさせて頂いております。「肩関節」に問題を抱えるスポーツ選手から一般患者さんまで、幅広いニーズに応えられる元気になる診療をモットーにしています。

今回の卓話では多くの方が患う壮年期(40～60歳)の肩の痛みテーマを絞ってお話をさせて頂きます。

こんな夫婦の会話が聞こえてきました。

夫:「寒うなってから肩が痛うなって、昨日も眠れんかったわー(苦)。」

妻:「そら～あんた五十肩やわ!」

夫:「そうか五十肩か! そしたら大丈夫やな(安)。俺ももう歳やなー(笑)。」

この会話には二つの問題があります。まず肩の痛みは「五十肩」と決めつけてしまっていること。もう一つは「五十肩」なら大丈夫という安易な認識です。

「五十肩」の語源は江戸時代に遡りますが、それが今日でも広く一般に使われており、正しい診断や治療を妨げる原因になっています。

整形外科の肩専門医が診断する「五十肩」は「特発性(一次性)肩関節拘縮」という狭い病態を指します。肩の関節包が加齢性的変化で萎縮し、その結果、痛みを伴う可動域制限がおこる病気で、概ね投薬や注射、リハビリで治る病態です。しかし、残念ながら壮年期にみられる肩痛原因の20%程度とされています。それ以外、腱板断裂、変形性肩関節症、石灰沈着性腱板炎、上腕二頭筋長頭腱炎、インピンジメント症候群、二次性の肩関節拘縮、頸椎疾患……など多数あり、場合によっては大きな機能障害を残すこともあり除外診断が大切です。肩痛でお困りの皆様、まずは我々整形外科にご相談ください。



(左から) ご紹介者 クラブ奉仕B部門 塚本貞治理事、野志幸生会員、卓話ゲスト中根康博さん、野井会長

### 「第4回理事会」開催!

2024年10月1日(火) 18:30～

